

国営越後丘陵公園整備プログラム



チューリップまつり



香りのばらまつり



サマーナイトプレゼンツ



水遊具



木製遊具



コスモスまつり



ウィンターフェスタ



古民家



野鳥観察会



カタクリの群生



自然探勝路



中越地震時の防災拠点

平成21年4月
国土交通省北陸地方整備局

I. はじめに

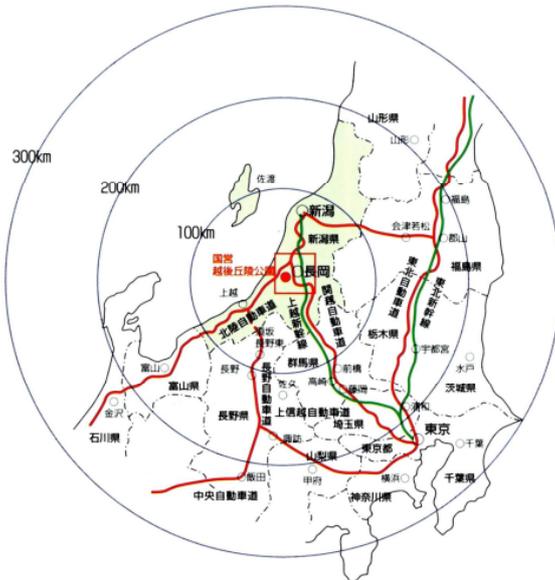
国営越後丘陵公園は、近年のレクリエーションニーズの多様化、交流の拡大など広域的レクリエーション需要の増加に対応するために、全国で13番目、本州日本海側初の国営公園として、新潟県長岡市において平成元年度より整備を進めています。

公園の整備にあたっては、良好な交通条件と恵まれた自然条件を活用し、北陸地方の中心的な公園として、雪国の風土を生かしつつ、四季を通じて誰もが、広々とした園内で遊び、色とりどりの花を楽しみ、里山の自然や暮らしを知ってもらうための整備を進めています。

また、園内の各施設はユニバーサルデザインを基本とし、誰もが安全・快適に利用頂けるように整備を進めています。

1. 全体計画

(1) 所在地 新潟県長岡市



公園内の利用状況

- (2) 全体面積 約400ha
- (3) 整備着手年度 平成元年度整備着手
- (4) 基本テーマ 「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」
- (5) 基本方針

- 1) 恵まれた自然資源の保全と活用
- 2) 多様なレクリエーション需要への対応
- 3) 通年利用を可能に
- 4) 古き文化の継承と新しき文化の育み
- 5) 地域社会との交流を深め地域に貢献

(6) 全体構成

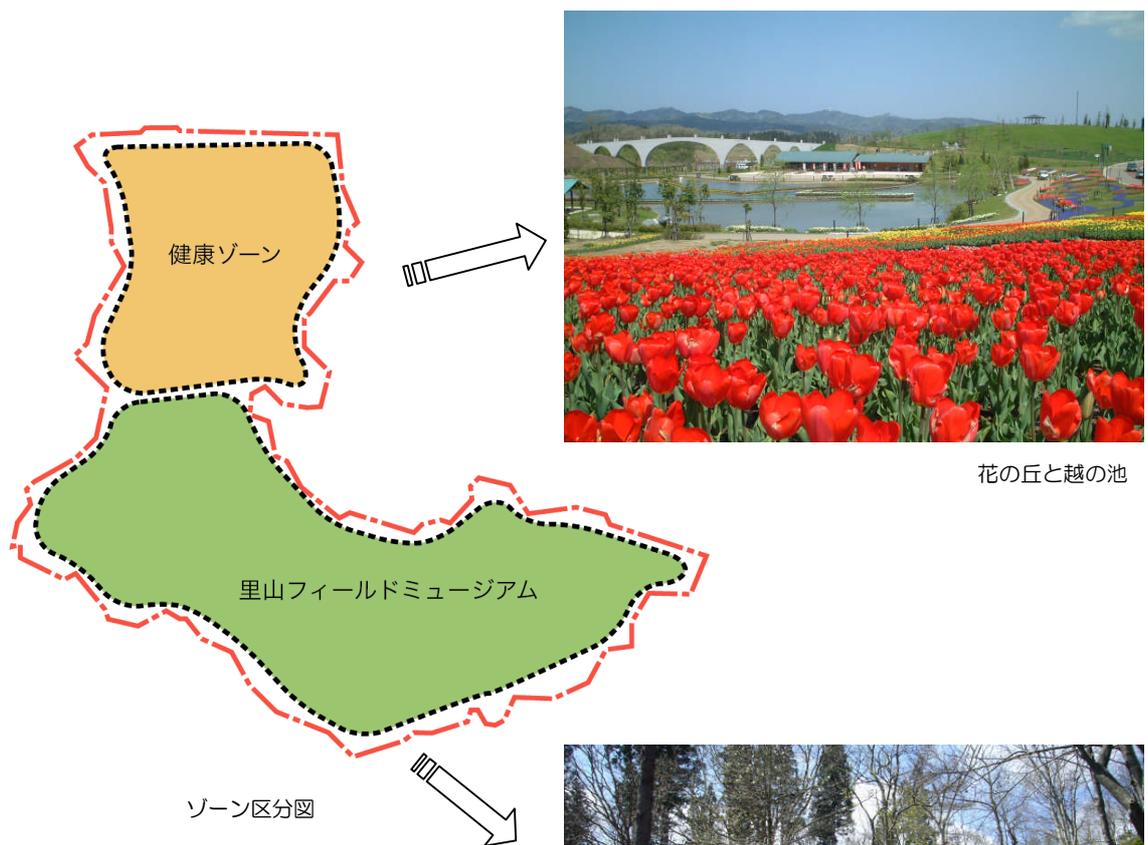
①健康ゾーン (約120ha)

広域的なレクリエーションに対応した、四季を通じて多様に利用できる広場空間のゾーン。

②里山フィールドミュージアム (約280ha)

雪国越後の里山を復元し、自然資源を活かした様々な体験学習の開催や雪国の里山情報の発信を行うゾーン。

また、かつての雪国里山の暮らし体験と、自然にやさしいこれからのライフスタイルの体験の場を提供していくゾーン。



花の丘と越の池



春の草花観察会

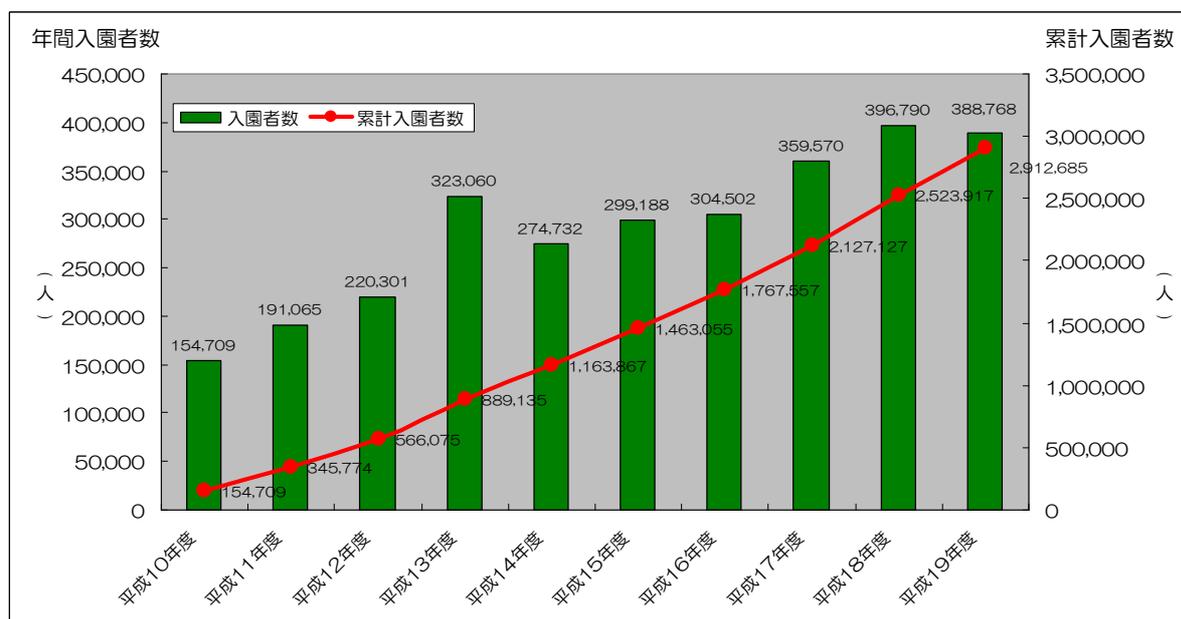
2. 供用の経緯

昭和 63 年度に長岡市を国営公園候補地として決定し、平成元年度より整備に着手しました。平成 3 年度より健康ゾーンの工事に着手し、平成 10 年 7 月 30 日に健康ゾーンの一部 29ha を開園しました。その後整備を進め、平成 15 年度には健康ゾーン約 120ha の整備が概成しました。里山フィールドミュージアムは、平成 15 年度より整備に着手し、平成 19 年 9 月 22 日に 20ha が開園しました。

(平成 20 年 3 月末現在)

年 度	主 な 施 設	累計開園面積
平成元年度	事業着手	
平成2年度	都市計画決定 (398.6ha)	
平成3年度	工事着手	
平成10年度	健康ゾーンの一部開園(29ha) (緑の千畳敷、銀河の丘、越の池、イグ リツカ - デ)、 暖の館、天・地・人のフォア、駐車場 など)	29ha
平成11年度	展望台開園 (18ha) (ふれあいの森、フォアの丘、展望台、園路 など)	47ha
平成12年度	健康ゾーン追加開園(25ha) (駐車場、園路及び樹林地 など)	72ha
平成13年度	花と緑の館管理棟及び自然探勝路橋の開園(0.3ha) (花と緑の館管理棟、自然探勝路橋 など)	72.3ha
平成14年度	自然探勝路及び樹林地開園(47ha) (自然探勝路及び樹林地 など)	119.3ha
平成15年度	花と緑の館(休憩棟)追加開園 (0.3ha)、ばら園開園	119.6ha
平成19年度	里山フィールドミュージアムの一部開園 (20ha) (里山ふれあいエリア)	139.6ha

3. 年度別利用者数



Ⅱ. 平成24年度までの整備及び管理運営の方針等

1. 今後五箇年整備・管理運営の重点事項

(1) 基本目標

《雪国の地域性を活かし安全で魅力あふれるレクリエーション拠点の充実》

国営越後丘陵公園は、雪国北陸の国営公園としての特長を生かしつつ、施設の更新や整備による新たな魅力の向上、利用者に対するさらなる使いやすさの向上などが求められており、つぎの5点の基本方針を基に、整備、管理、運営を総合的に実施します。

① 魅力の増大

既存の施設や資源を最大限に活用していきながら、ユニバーサルデザインの推進によりあらゆる利用者が楽しめる公園としていきます。

さらに、雪に親しむ北陸、雪国の公園として“雪”の活用や冬期でも利用することのできる施設の充実、雪国ならではの自然や文化とのふれあいの場の提供を行っていくなど、広域の利用者に対し多様なニーズに対応できる公園を目指していきます。

② 里山自然環境の保全活用

対象地内に残されている特徴ある雪国の里山環境については、適正な管理を行いながら雪国の里山としての姿を維持し、自然エネルギーの活用を推進しつつ、公園のレクリエーション要素の一つとして、また環境学習の場として有効に活用していきます。

③ 地域連携の推進

地域との連携を強化し、地域の活性化や観光客の増大、人材育成・確保を図っていくことで、多様な形態で地域振興に資する公園を目指していきます。

④ 公園からの情報発信

地域特有の情報を多角的に提供していくと共に、中越震災や中越沖地震の経験を踏まえ、防災意識向上のための情報発信を行っていきます。

⑤ 安心・安全の確保

施設の安全点検や園内巡視の徹底などを行い、利用者が安全に安心して楽しく利用することのできる公園を目指していきます。

また、地域の中核的な広域防災拠点としての公園を目指していきます。

(2) 公園づくりの方向性

《雪国越後の憩いの場としての充実 里山フィールドミュージアムとしての充実を目指して》

●健康ゾーン

花空間の充実や屋根付施設の導入などのリニューアルを行い魅力を向上させます。

●里山フィールドミュージアム

里山の自然を観賞・体験できる里山ふれあいエリアの整備を促進させると共に、自然の地形を活かしたレクリエーションに対応した広場などの整備を行います。

①健康ゾーン

健康ゾーン(約 120ha)は平成 15 年度に概成していますが、今後もより多くの人々に来園していただくために、花空間の充実や屋根付施設の整備など更なる魅力づくりを行います。

②里山フィールドミュージアム

里山フィールドミュージアム(約 280ha)は、平成19年度に一部開園していますが、フィールドミュージアムの充実のため、雪国の里山を象徴するユキツバキなど特徴ある自然環境を活かし自然観察活動のための探勝路整備や拠点施設の整備を行います。

また、自然の地形をそのまま活かした広大な原っぱにおいて多彩なレクリエーションを行うために広場や休憩施設などの整備を行います。



香りのばらまつり (健康ゾーン)



稲刈体験 (里山フィールドミュージアム)

2. 整備方針

(1) 健康ゾーン

①イングリッシュガーデンの改修

香りのバラ園と一体となって、花の香りを楽しむことのできる施設を充実していくとともに、ユニバーサルデザインを取り入れた施設の全面改修を行います。



改修後のイメージ図

②花空間の充実

本公園で利用者に非常に人気のある花空間を充実するため、サクラ街道の拠点としてのサクラの植栽やアジサイ、ラベンダーの充実など花の彩り豊かな公園を演出していきます。



健康ゾーンのアジサイ

③屋根付施設などの充実

冬期や荒天時にも快適に利用でき、夏期の日よけにも利用できる屋根付施設の整備を行います。

さらに、トイレなどの便益施設や日よけ休憩施設などの充実を図り利用者の快適性を向上させます。



国営讃岐まんのう公園の整備例

④越の池の改修

施設の老朽化及び中越地震の影響による漏水の補修を行うとともに、利用者に人気の高い水遊び施設の充実を行います。



越の池の水遊具池

⑤ユニバーサルデザイン化の推進

誰もが安心して利用できるようにユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、バリアフリーに対応した施設の改修を行います。



香りのばら園の通路

(2) 里山フィールドミュージアム

① 里山自然館の整備

体験学習や自然情報の拠点施設として「里山自然館」を整備します。館内においては、園内で見られるホタルなどの特徴的な情報や季節の花情報を提供します。また、天候急変の際の避難場所にもなります。



里山自然館の整備イメージ

② 里山ふれあい施設の充実

里山の自然環境とふれあい学ぶことのできる場としての充実を図るため、探勝路や休憩施設、食体験のための施設を充実させます。

また、防護柵などの安全対策施設の整備を行います。



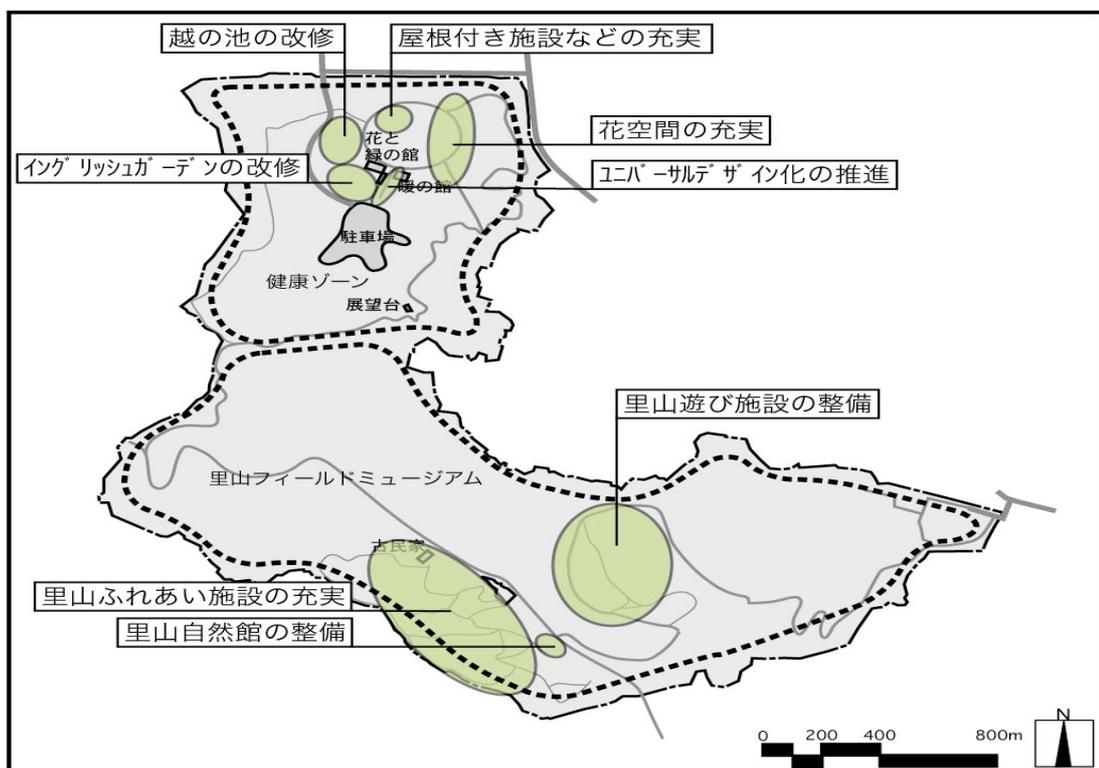
平成 19 年に開園した探勝路

③ 里山遊び施設の整備

広大な緩斜面の原っぱや隣接する樹林地を活用して、多彩なレクリエーションの行うことのできる広場や休憩施設の整備を行います。



多目的広場の整備イメージ



整備概要図

3. 管理運営方針

①人気要素の充実

多くの方々に公園を利用していただくため、利用者に人気のある香りのばら祭りにおいて、“香り”に特化したイベントや学びの体験、子供向けのイベント、里山の自然環境とふれあうことのできる四季折々の多様なイベントの充実を図っていきます。



バラに関連した国際イベントの開催

②快適性の向上

スタッフの気持ちのよい対応や、清潔な施設維持、快適な広場空間の提供などのサービス向上に努めます。



トイレ清掃

③利用者層の拡大

雨天時及び冬季の遊びの要素充実や、公園の持つ資源や特徴を最大限に活用して、多様なレクリエーション要素の展開を図ります。



冬季のスキー教室

④里山の保全活用

里山の自然環境を楽しみ学べるフィールドとして、間伐や下草刈りなどの適正な樹林管理を行っていくことにより、健全な里山林を維持し活用していきます。



残置木と伐採木の選定

⑤地域連携の推進

近隣の県立歴史博物館、雪国植物園などとの共同イベントの開催を行っていきます。また、地元からの花苗の供給や長岡野菜など地場製品のPRを行い地域の地産地消活動に貢献します。



長岡野菜のPR販売

⑥公園からの情報発信

多様な広報媒体を最大限に活用し公園からの施設情報やイベント情報を提供していきます。

また、防災意識向上のために中越地震情報などを情報発信していきます。



中越大震災展示イベント

⑦利用者の安全性確保

園内を安全に利用していただくために防護柵などの整備や施設の安全点検を行います。



木製遊具点検

⑧緊急時の迅速な対応

中越大震災発生時などの経験を踏まえ、大規模災害発生時には災害復旧活動のための支援を行います。



中越地震時の公園利用状況

⑨効率的な管理運営

雨水の利用や、太陽光発電などエコエネルギーの活用による光熱費の節減を行います。

また、園内で発生した伐採木をチップ化し園路等に使用するなど維持費の縮減に取り組みます。



太陽光発電装置の導入

⑩公園パートナーの育成

NPO やボランティアとのパートナーシップによる公園づくりを進めるとともに、園内の自然や里山文化などを来園者に分かりやすく解説できる自然観察インストラクターの育成を行います。



里山案内人講座

4. 事業に伴い期待される効果

(1) 広域圏からの集客

「香りのばら園」のブランド化により国内外からの広域での観光利用による集客が期待できます。

(2) 入園者数の増加

更なる魅力アップとして、健康ゾーンはイングリッシュガーデンのリニューアルや花修景施設全般のレベルアップ、里山フィールドミュージアムでは整備の促進を行うことにより入園者の増加が期待できます。

(3) 誰もが利用しやすい公園

ユニバーサルデザインによる施設整備を行うことで、誰もが利用しやすい公園となります。

(4) 里山の自然環境とふれあい

良好な里山散策空間を提供することにより、誰もが快適に里山の自然環境とふれあうことができるようになります。

(5) 里山情報等の発信

体験学習や自然情報交流の拠点として、市民ボランティア、NPO、研究機関等と連携し、様々な自然体験プログラムの開催により、里山における環境学習が可能となるほか、里山情報等の発信ができます。

(6) 雪国独特の生物生息環境の保全

雪国の里山環境の維持管理にあたっては、里山として自然環境に対する適度の管理作業を推進し、地域固有の生物生息環境の保全が図れます。

(7) 環境に負荷をかけない公園管理

園内の維持管理作業により発生する剪定枝、間伐材等をリサイクルし、園内で再利用することにより環境に負荷をかけない公園管理が可能になります。

(8) 地域の観光振興や活性化に貢献

地元など近隣施設と連携し、イベントによる協力や共同事業を行うことにより、地域の観光振興や活性化に貢献できます。

本プログラムは、事業の進捗状況を踏まえて、適宜見直しを行っていきます。